

宮城県仙台第一高等学校東京同窓会 平成27年度総会議事次第

平成27年10月31日

第一部

司会三品幹事

プレリュード：音楽部OBによる合唱

開会

物故者を偲んで黙祷

東京同窓会会長挨拶

和久井 康明 会長

来賓紹介

母校、母校同窓会

来賓ご挨拶

加藤順一 校長

決議事項

決算報告と監査報告（井原幹事、）

規約改定、会費改定、役員選任（田二谷幹事）

会務報告

年間活動概要（和泉幹事）

記念講演

『戦後70年 東北と私』

藤原作弥氏（高8回）元日銀副総裁、時事通信社解説委員長

第二部

司会井原幹事

校歌斉唱

乾杯 音頭：浅見紀夫母校同窓会会長

☆☆☆☆☆ 歓談 ☆☆☆☆☆

クラブ活動報告

バスケットボール部

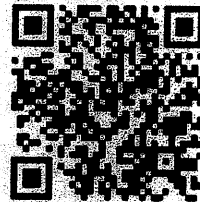
学生会員紹介

応援歌 リーダー熊谷氏（高30回）

閉会

東京同窓会ホームページの URL
<http://sendai1-tokyo.org/>

来年度総会は10月29日(土)
会場はハイアットリージュンシー東京
で行います。



宮城県仙台第一高等学校東京同窓会収支報告書

(単位:円)

	前期繰越高	H26.9.1~H27.8.31	合計
(収入の部)			
1. 同窓会費収入	1,601,902	99,000	
2. 総会費収入		1,759,000	
3. 利息		135	3,460,037
(支出の部)			
1. 総会費用		1,578,952	
2. 印刷代		31,082	
3. 旅費交通費		33,890	
4. HP関連費用		149,407	
5. 会議費		150,469	
6. 母校同窓会総会参加関連費		31,580	
7. 通信費		39,448	
8. 口座徴収料金		1,658	
9. 雑費		43,605	2,060,091
残高			1,399,946

ゆうちょ銀行残高 767,916
みずほ銀行残高 632,030

平成27年8月31日

宮城県仙台第一高等学校東京同窓会

正味財産増減計算書

(平成26年9月1日~平成27年8月31日)

(単位:円)

科目	金額
I. 増加の部	
当期収支差額	△201,956
増加額計	△201,956
当期正味財産増加額	△201,956
期末正味財産合計額	1,399,946

財産目録

(平成27年8月31日現在)

(単位:円)

科目	金額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
ゆうちょ銀行	767,916
みずほ銀行	632,030
資産合計	1,399,946
II. 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	0
負債合計	0
正味財産	1,399,946

監査報告及び意見書

会計監事として白幡 善雄 及び 飯塚 卓也 は同窓会事務局より提出された平成26年9月1日から平成27年8月31日終了の期間にわたる収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録を監査した。

1 監査の方法の概要

会計に関する帳簿書類を精査し計算書類の正確性を検証するため、確認、会計証拠資料間の照合および広く業務の内容についての聴取等その他の監査方法を用いて監査した。

2 監査結果に対する監事意見

関係書類および計算書類は当同窓会の目的、活動に照らし正常な活動と関連する財産ならびに収支の状況を正しく表示しているものと認める。

以上相違なき事を証します。

平成27年9月10日

宮城県仙台第一高等学校東京同窓会

会計監事 白幡 善雄 (高13回)



会計監事 飯塚 卓也 (高36回)



仙台第一高等学校東京同窓会会則改定案

平成 27 年 10 月 31 日

<改訂の趣旨>

- ① 役員に交代の必要が生じた場合に、会の運営に支障を来さないために、補欠役員の選任および委嘱を幹事会によって迅速に行うことができるようにする。
- ② 本会の活動原資として寄付金を受けることができることを明確にし、会の安定運営に資する。

<変更案の内容>

会則変更案の内容は以下の通りとする（変更箇所は下線の部分）。

現行規定	変更案
<p>第四章 役員</p> <p>第 9 条 本会に次の役員を置く</p> <p>(1) 会長 1 名</p> <p>(2) 幹事 若干名</p> <p>(3) 会計監事 2 名以内</p> <p>尚、会長は必要に応じ、副会長または幹事長を会長の任期中、置くことができる。</p> <p>2 前項の役員は正会員の内から幹事会で選出し、総会に諮り委嘱する。</p> <p>3 本会に顧問を置くことが出来る。顧問は幹事会の審議を経て会長が委嘱する。</p> <p>第 11 条 役員任期は次の通りとする。</p> <p>(1) 会長 任期 3 年</p> <p>(2) 幹事 任期 3 年</p> <p>(3) 会計監事 任期 3 年</p> <p>2 役員過半の任期重複を目的とし</p>	<p>第四章 役員</p> <p>第 9 条 本会に次の役員を置く</p> <p>(1) 会長 1 名</p> <p>(2) 幹事 若干名</p> <p>(3) 会計監事 2 名以内</p> <p>尚、会長は必要に応じ、副会長または幹事長を会長の任期中、置くことができる。</p> <p>2 前項の役員は正会員の内から幹事会で選出し、総会に諮り委嘱する。</p> <p><u>3 前項の規定にかかわらず、役員早急な交代が必要な事情が生じた場合には、幹事会での決議を以て、正会員の内から補欠の役員を選任して委嘱することができるものとする。ただし、決議後最初に開催される総会において追認決議を受けなければならない。</u></p> <p>4 本会に顧問を置くことが出来る。顧問は幹事会の審議を経て会長が委嘱する。</p> <p>第 11 条 役員任期は次の通りとする。</p> <p>(1) 会長 任期 3 年</p> <p>(2) 幹事 任期 3 年</p> <p>(3) 会計監事 任期 3 年</p>

て、途中交代又は増員により選任された役員の任期は選任された時より3年とする。

3 役員は辞任又は任期満了の場合においても後任者が就任するまではその職務を行う義務を有する。

第六章 資産および会計

第14条 本会の資産は会費、諸活動剰余収入、資産より生じる利子収入、その他よりなる。本会の活動に要する経費は資産をもって支弁する。

附則

本会則は平成21年10月1日に発効する。
本会則は平成23年10月1日に改版発効する。
本会則は平成25年10月19日に改版発効する。

2 役員は過半の任期重複を目的として、途中交代又は増員により選任された役員の任期は選任された時より3年とする。
ただし、第9条3項により幹事会の決議により委嘱され総会で追認決議を受けた補欠の役員の任期は前任者の残任期間とする。

3 役員は辞任又は任期満了の場合においても後任者が就任するまではその職務を行う義務を有する。

第六章 資産および会計

第14条 本会の資産は会費、諸活動剰余収入、寄付金、資産より生じる利子収入、その他よりなる。本会の活動に要する経費は資産をもって支弁する。

附則

本会則は平成21年10月1日に発効する。
本会則は平成23年10月1日に改版発効する。
本会則は平成25年10月19日に改版発効する。
本会則は平成27年10月31日に改版発効する。

以上。

年会費の改定について

1. 改定趣旨

- (1) 現行の年会費制度の期間がH28/8に終了するのにもない、H28/9以降の年会費制度について定めるもの。

2. 改定内容

- (1) 現行制度 : H23/9～H28/8(5年間)、3,000円(1年当たり600円)を一括徴収。
(2) 新会費制度: 1年当たりの年会費を増額し、
H28/9～H31/8(3年間)3,000円、(1年当たり1,000円)を一括徴収する。

3. 改定事由

- (1) 年会費により、総会以外の諸活動(現役生徒校外研修支援、学生・社会人交流会、会議費、HP等)の費用を賅っており、その金額は年間約500千程度。
(2) 一方、現行の年会費制度の納付状況は、
H23/8～H27/8までで、925件、2,775,000円の実績で、
1年当たりに換算すると(÷5年)、555千円となり、ほぼ収支はトントン。
(3) また、H27/8末の預貯金残高は、1,400千円で、現行制度の最終年度末であるH28/8末では、新年会費の徴収費用も発生し、700千円程度と1百万円を切る見込み。
(4) 当会の性格上、残高の積み上げを目的とする必要は全くないが、財政基盤安定、諸活動の円滑な遂行、不測の事態への備え等の観点から、相応の残高は維持しておきたい。
(5) さらには、現行の活動の強化、充実(特に校外研修支援、学生・社会人交流会は母校側の期待も大きい)、及び活動拡大(会報発行等)を図りたく、年会費を増額することといたしたい。

以上

役員選任の件

平成27年10月31日

1. 幹事候補；

	卒業回	氏名
幹事	高22回	内海 隆樹
幹事	高26回	佐藤 泰信

<参考>

A. 留任役員；

	卒業回	氏名
会長	高13回	和久井 康明
幹事	高16回	和泉 正郎
幹事	高25回	井原 三敬
幹事	高28回	羽賀 孝夫
幹事	高30回	熊谷 靖広
幹事	高33回	阿部 裕徳
監事	高13回	白幡 善雄
監事	高36回	飯塚 卓也

B. 退任役員；

	卒業回	氏名
幹事	高22回	田二谷 正純
幹事	高24回	三品 智加良

年 間 活 動 概 要

第1回幹事会

平成26年11月20日(水) 於マルゴ ルナ ソーラ
旧幹事からの引き継ぎ、幹事担当、年間計画決定

第7回学生部会

平成26年12月14日(日) 於品川ラーニングセンター
学生参加7名 アドバイザー参加10名

第2回幹事会

平成27年1月27日(月) 於マルゴ ルナ ソーラ
重点課題検討(会費改定、ホームページの充実)

大槻文彦先生命日墓参

平成27年2月17日(火) 於品川 東禅寺

第3回幹事会

平成27年3月25日(水) 於マルゴ ルナ ソーラ
総会準備内容検討

第4回仙台一高東京茶畑会ゴルフコンペ支援

平成27年4月7日(火) 於入間カントリークラブ

第8回学生部会

平成27年6月7日(日) 於品川ラーニングセンター
学生参加19名、アドバイザー参加10名

第4回幹事会

平成27年7月1日(水) 於ハイアット リージェンシー東京
総会会場下見、総会準備検討

平成27年度仙台一高校外研修・講演会

平成27年7月9日(木) 於品川プリンスホテル
2年生 講師6名参加

第9回世話役懇談会

平成27年7月18日(土) 於ハイアット リージェンシー東京
世話役21名参加 会費改定、会費納入名簿にご意見

第5回幹事会

平成27年9月10日(木) 於マルゴ ルナ ソーラ
総会タイムスケジュール検討

第6回幹事会

平成27年10月6日(金) 於マルゴ ルナ ソーラ
総会最終準備確認、参加予定者確認

記念講演

『戦後70年 東北と私』

講師 藤原 作弥 (高8回)

略歴

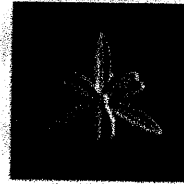
1937年仙台市生まれ、1942年言語学者の父に従って朝鮮の清津へ移住
1944年満州興安街に転居するが、1945年ソ連軍による侵攻の9時間前に脱出、1946年帰国。仙台一高を経て、1962年東京外国語大学フランス語学科卒、時事通信社に入社。経済部記者として大蔵省担当。1967年よりオタワ、ワシントン特派員、以後日本銀行、経団連、外務省を経て、編集委員、解説委員、解説委員長を歴任。1982年『聖母病院の友人たち』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。1998年、日銀副総裁に就任(→2003年) 2003年、日立総合計画研究所社長(→2007年)

著書

- * 聖母病院の友人たち 1982年新潮社 後文庫
- * 満州、少国民の戦記 1984年新潮社 後文庫
- * 死を看取るころ 1987年講談社 後文庫
- * 人間のいる風景 1988年講談社
- * 素顔の日銀総裁 1991年日本経済新聞社*
- * 満州の風 1996年集英社
- * 風評私評 1998年文芸春秋社
- * 素顔の日銀副総裁日記 2003年集英社
- * 東北への眼差し 2012年愛育社

共著

- * 李香蘭私の半生 1987年新潮社 山口淑子共著 後文庫



校歌

宮城野の萩に笹（竹）を配して仙台を象徴するとともに、萩のふくらみと竹の強さに柔と剛、すなわち質実剛健な中にも豊かな情操をふくんでいることを象徴している。
(昭和23年4月15日制定)

大槻文彦 作詞
岩城寛 作曲

青葉の山の深緑
すがすがしきを心にて
身をし重んじつつましく
矩をば踏えずまもるべし

広瀬の川の一筋に
我が私をうちすてて
赤き真心捧げもち
御国の為につくすべし

(明治四十二年制定)

応援歌 一番

1. 山も怒れば万丈の／煙を吐いて天をつく／ゆるけき水も激しては／千丈の堤破るらむ／見よ男性の意気高く／堂々と勝つ一高軍
2. 銀鞍軽く凜然と／白馬にまたがる我が選手／日頃きたえし渾身の／技量に飾る晴れ戦／しゃくしゃく既に敵をのみ／一瞬蹴破る目指す陣

応援歌 二番

1. 玲瓏の山河の姿燦爛の歴史の跡に／育まれし五城の男児自らも人亦許す／七州の七州の雄々しき諫め
2. 若き獅子の叫ぶに比う青春の我等が力／大原に狂う嵐は一千の健児の意気ぞ／起たむ哉起たむ哉嗚呼秋到る
3. 血潮啜る悲憤の誓ひ金鉄の男子の契り／団結の炎の影を踏みて行く我らが選手／当る者当る者皆塵と飛ばさむ
4. 雲嶮し中原の空躍り込む我等が友は／骨砕け肉飛び散りて死すとも守らむ一高の名を／勝たむ哉勝たむ哉嗚呼唯勝たむ

凱歌 一番

1. 杜の都に覇を唱え／意気揚々と繰り出す／勇まし雄々しき我が友の／高鳴る胸の血潮聞け
2. 燃ゆる血潮をそのままに／染めてかざせる応援旗／黒きてへんにうそぶけば／見よや五彩のたなびくを
3. 古き歴史の跡をうけ／正義に勇む丈夫は／肩に同胞一千の／期待をのせて今ぞ起つ
4. 彼何者そ何かある／我等一度奮起せば／鎧袖一触地に砕け／天にも響け我が凱歌

凱歌 二番

1. 肥馬鞭打たせゆるかにも／敵の牙城に寄るは誰／秋水一度閃けば／君は無人の境行く／戦勝てり美酒を／汲みて讃えん君が御名／光涼しく月照れば／喜び満つ五城楼
2. 秋の最中の野の風に／乱れて伏すやしこ草の／定め果てなき敵の陣／紅蓮の旗は地に伏しぬ／戦勝てり美酒を／汲みて讃えん君が御名／光涼しく月照れば／喜び満つ五城楼

起てよ我が友

1. 起てよ我友一高の／百余年の伝統と／杜の都の寵児たる／栄えある歴史の名のために／一高一高胸にあふるる意気を見よ
2. 自発能動献身の／一高魂身につけて／精鋭誇る我が選手／誰か敵する者やある／一高一高栄冠永久に我にあり